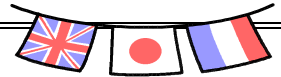


令和3年度早川南小学校だより (〜♪)

はるき



令和3年10月7日

No.22

校長 河西 弘明

大成功の運動会！感動をありがとう！…ご参観ありがとうございました！



2階から聞こえてくる朝の歌声が、運動会の歌からカントリーロードのしっとりとした曲調に変わり、学校の空気感も先週までの雰囲気と比べて、どこことなく落ち着いた感じがします。

2日の土曜日は、気持ちよい秋晴れに恵まれて、コロナ禍の制限下ではありましたが開催できましたことに安堵いたしました。参観者の制限や、楽しみにされていた家族揃っての昼食を省略させていただきましたが、保護者の皆様をはじめ、町の関係の皆様にもご理解とご協力をいただき中で、思い出に残る運動会を開催できましたことに、改めまして感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

週明けの全校集会で、全員が体育館に整列しましたが、1年生から6年生まで全員の顔つきがたくましくなった気がしました。姿勢一つとっても、とてもいい姿勢が取れるようになりました。運動会を成功させるために、約一ヶ月間、児童たちは目標を立て、自分たちで考えて行動してきました。取り組み中は、上級生が下級生の手を取って導いたり、積極的に声をかけたりする場面がたくさん見られました。特別日課が始まった最初の日に全校児童に伝えたことは、「1年のうちで、赤組と白組に分かれて対戦する機会は運動会だけです。では、なぜ赤白で対戦するのでしょうか？…スポーツなどでは相手に勝つために努力します。その努力することや勝ちたいという気持ちが、力を出させてくれるからです。運動会では、そういうことをみんなが体験し、それがみんなの成長につながるからです。」という趣旨の話をしました。

運動会が終わって、児童たちは取り組みから本番まで、かけがえのない思い出を作り、自分の心の中で大きな成長をしたと思います。それが、集会での児童の顔つきや姿勢に現れた瞬間かなと思いました。

児童会長を先頭に、胸を張って入場した行進に始まり、開会式から最後の閉会式まで、全力でやりきった子どもたちに、心から拍手を送りたいと思います。子どもたちは、ほぼ全部の種目で自分の役割があったので、半日とはいえ本当に疲れたことと思います。

今年は、白組が3年連続で優勝しました。赤組は、きっと心の中では悔しい気持ちでいっぱいだったかも知れませんが、運動会のテーマの通りに「勝っても負けても笑顔あふれる運動会」にしようと、最後まで頑張りました。感想発表でも、「来年は優勝したいです」と、すぐに来年に向けて気持ちを切り替える姿も立派だと思いました。（裏面に続きます）

全部の種目が印象に残っていますが、特に感動したのは、やはり表現種目でした。低学年は、今年はソーラン節の激しい踊りに挑戦し、小さな体を精一杯に伸ばして、かっこよくて迫力ある演技でした。一人一人からエネルギーが感じられました。当日、初披露された「大漁旗」は、後ろから演技の間ずっとたなびいて、児童の踊りを力強く応援してくれました。素晴らしい演出だったと思います。

高学年の組み立て・旗演技は、人数の少なさを動きでカバーした演出で、途中の飛行機のように飛び回る動きは、自分たちの未来はどんなところへでも羽ばたいていけるんだ、という姿を表現していたと思います。オリンピックの応援ソング「カイト」など、曲と演技の融合は、見た人の感涙を誘いました。上級生として、下級生にあこがれの気持ちと目標となる姿を見せてくれました。

恒例の全員写真での表情は、一生懸命頑張ったことの証です。一生の記念になると思います。

終了後は、保護者の皆様全員が片付けに協力いただき、精力的に全ての品々を畳んでくださいました。毎年ながら、準備に片付けに、団結力ある本校PTAの協力体制に、職員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。



体育主任！

入学から半年の1年生、お兄さんになった2年生、リーダー3年生たちによる力強い「はるきっ子・ソーラン」！



「♪アナザースカイ」と「♪カイト」をBGMに…感動の組立&旗演技『和』！君の夢よ叶えと願う…♪



卒業まであと半年…児童会を引っ張る頼もしい6年生！最上級生としての責任を立派に果たしました！